６．会員名簿及び賛助会員名簿

登録番号	登録期	氏　　名	役職・委員
340	5 期	國忠　征美	理事長
2465	25 期	大賀　哲哉	副理事長
1141	14 期	魚井　聖一	理事
1314	15 期	時光　邦憲	理事
817	11 期	片岡　栄一	事務局長
2666	26 期	山崎　真理	監事
743	10 期	古城　富士夫	社員
1621	18 期	石部　友弘	社員
1856	20 期	猪　雅人	社員
2004	21 期	小林　智	社員
2169	22 期	中野　聡	社員
2347	24 期	岡坂　一司	社員
2503	25 期	重廣　一成	社員
2356	24 期	梶原　利廣	社員
2792	28 期	大熊　紗織	社員

顧問	氏　　名
	千葉　喬三

賛助会員

＜個人＞	＜法人＞
武田　浩晃	㈱武田芳翠園
森田　宜嗣	(株)山都屋
寺内　　忠	(株)山本造園
オルソン良子	(株)小山庭苑

事務局
〒702-8001
岡山市中区沖本 488
事務局長　片岡栄一

（ＮＰＯ法人）岡山県樹木医会会報

『樹木医ジャーナル』

第１号（令和２年９月）

臥龍のイチョウ
小田郡矢掛町地内鵜江神社内

昔、台風で倒木し部分的に切除されたが、年月が経ち残った幹がまさに臥龍の如く見事な姿となり生きている。樹木の生命力と尊さを感じることができるこのイチョウは、本殿の西側に鎮座している。　（片岡樹木医寄稿）

【目次】

1.　令和２年度事業予定
2.　令和元年度事業報告
3.　研修会の報告
4.　令和元年度活動実績
5.　トピックス
6.　会員名簿および賛助会員名簿

１. 令和２年度事業予定

(1)	令和２年　５月１０日	令和２年度通常総会　書面評決
(2)	令和２年　９月　６日	円通寺　良寛椿の簡易診断と庭園見学 円乗院　クスノキの樹勢低下の原因調査 倉敷市玉島地内

２．令和元年(平成３１年)度事業報告

(1)	令和元年　８月１７日	岡山市指名業者登録完了
(2)	令和元年　９月　８日	樹木医研修（現地)井上邸サカキ、県立大学カイノキ
(3)	令和元年　９月１５日	樹木医研修（浦安公園）井上邸サカキ診断書作成
(4)	令和元年１１月　９日	㈱保安企画よりモモの診断
(5)	令和２年　１月　５日	新年互礼会開催（サンピーチ岡山)
(6)	令和２年　２月１０日	㈱保安企画よりクロガネモチ診断・治療
(7)	令和２年　２月　２３日	岡山市北区地域整備課より公園樹木調査

３．研修会の報告

ＮＰＯ法人岡山県樹木医会主催の研修会を令和元年９月８日（日）に午前と午後に場所を移動し開催しました。正会員１５名、賛助会員５名参加がありました。午前の研修内容は、高梁市の個人邸で樹齢約４５０年になるサカキを対象に、「樹木診断様式」を利用した地上部の衰退度判定や倒木・枝折れ等の危険度診断と、ブルーメライス測高器や検土杖・葉緑素計などの器具を利用し、使い方や結果の見方などの知識の共有を行いました。診断結果は後日取りまとめ、岡山県緑化推進協会に報告しました。

午後の研修内容は、岡山県立大学へ移動し、打撃音樹内腐朽簡易診断装置「ぽん太」のメーカである株式会社ワールド測量設計の方より「ぽん太」の利用できる樹種や測定の際の注意点、今後の改善点などを説明して頂きました。実演は目視で腐朽や空洞の状態が判断できる３本を対象木とし、検査の手順や結果データの種類や見方について説明を受け、現状と測定結果を比較し有効性が確認されました。次に、片岡栄一樹木医によるカイノキの根系誘導治療を見学しました。治療を行うに至った経緯と治療を前に行った調査概要について説明を受けた後、実際に施工したカイノキを前に土壌の透水性・通気性の改善を図るために行った土壌改良と、導入した角フリューム・透水平板の範囲や設置方法について詳細を聞きました。最初の樹勢調査は２０１７年７月に実施されており、その当時と比較するとカイノキの樹勢は回復傾向にあるそうです。

４．２０１９年度活動実績

(1) ㈱保安企画よりモモの診断　クロガネモチの診断・治療

①モモ　　事故にあった３本について調査及び診断

②クロガネモチ　　損傷した２本について調査及び診断

(2) 岡山市北区地域整備課より公園樹木調査及び治療

西川緑道公園内のソメイヨシノ 3 本について調査診断および治療を行いました。大きく腐朽している箇所を取り除き整形を行った後、罹患部を消毒しピートモス等を充填し、その後養生を行い、根茎誘導治療を終了しました。

５．トピックス

(1)図書「新岡山の巨樹　老樹　名木」((公社) 岡山県緑化推進協会　著、編集）に調査協力

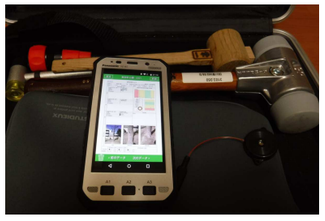
上記図書は、1972 年の初版、1987 年の改訂版より３０年が経過し、枯死や伐採などにより消失したものや、新たに存在が確認されるなど県内の巨樹老樹名木は様変わりしているため、2015 年より、既に確認されている樹や新たに該当する樹をなどの再調査に取り組み、約 1400 種を調査し、その中から保存の必要性の高いと思われる 193 樹が紹介されています。

我々も概況調査や写真撮影などに協力し、2020 年 7 月 7 日に発刊されました。

(2) NPO 法人岡山県樹木医会のベスト

樹木調査や治療などの活動を行う際に着用するネーム入りのベストを作成しました。活動時での視認性を高め、安全は元より樹木医の認知度を高めるツールとして利用します。色は赤で１５０メートル先からも確認できる高輝度タイプです。

(3)打撃音樹内腐朽簡易診断装置（ぽん太 ProVersion）導入



令和元年７月に樹木の腐朽診断装置を導入しました。本装置は横打撃共振法という測定計測原理をつかい、樹木内の腐朽の有無を非破壊で調査が可能です。樹木診断において知識と経験に基づく判断はもとより、科学的なデータを加えた初期診断が可能になりました。